

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 鎌ヶ谷初富教室

保護者等数(児童数)25 回収数14 割合56%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	0	見学させて頂いた限りでは人数に対してお部屋のスペースは十分で動きやすいと感じました。	今後も教室の配置を定期的に見直し、安全な教室作りを行います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	0	0	1	何人いるかわからないから	スタッフ紹介などを活用し、安心して利用できるような工夫をいたします。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	0	0	息子に関しては特に問題なく毎回楽しく通わせて頂いております。見学した際も清潔に保たれていたと感じました。	今後も引き続き安全で清潔に過ごせる空間を提供いたします。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	0	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0	0	0		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	0	0		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	0	0	0	日にちにより色々な事をさせて頂いているので息子も楽しく参加出来ていると思います。	今後も意見を出し合い、楽しく療育が出来るように努力いたします。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	1	9		
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	0	0	1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	6	2	2	4	どうゆう支援か具体的にわからない	定期的に行うように調整いたします
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	0	0	0		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1	0	0		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	3	4	7	私時間が短時間利用なのもあり分からない部分があります。	定期的に行えるように、早急に見直します。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	1	0	1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	0	0	0		
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	0	0	0			
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	1	0	4		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	0	0	3	避難訓練等は開催時にお知らせしていただいております。	今後も定期的に行っていきます。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	0	0	毎週とても楽しんで通っております。他の児童発達支援教室も併用していますが、息子がこぼんさんに行くのを一番楽しみにしております	安全に楽しく過ごせるように全職員で意見を出し合い、今後も良い教室作りを目指していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	13	1	0	0	人数の都合で仕方ないのですが、隔週や長期休みの時に1日預かりでして頂けると幼稚園のリズムが崩れにくくなるのでお願い出来たらと思っています。平日にも通えたらもっとよい。親が見学などあったら中の活動内容がわかりやすい。	なるべくご要望にお応えできるように努力いたします。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 こぼんはうすくら ○○教室

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	0	状況に応じて机椅子の配置をして、スペースを確保している。教室を改装し、その場にあった環境を提供できるようになりまし	
	2 職員の配置数は適切であるか	14	0	2対1になるように人数振り分けをしている。無駄な物を置かず、死角を作らないように気を付けている	引き続き適切な人数になるように積極的に声を掛け合いながら行う必要がある。プログラムから次のプログラムに移る際に、職員が部屋を出入りしないといけない。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	0	無駄なスペースをなくし、死角となる箇所を極力なくしている。	玄関の段差があり、今後工夫は必要である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空	14	0	毎日掃除を行い、異物誤飲など起こさないようにしている。	日当たりが良すぎず、また室内温度が上がってしまうこともあるため、カーテンなどで遮光を状況に応じて今後していく必要がある。
	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	14	0	朝礼や夕礼を通じて日々職員が積極的に発言している。朝礼、夕礼、ヒヤリハットなどを通じて全職員に伝わるように工夫しています。	非常勤職員への伝達を引き続き行い共通認識が持てるようにしていく。
業務改善	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	0	送迎時などでも積極的に保護者との関わりを持つようにしている。	保護者からのご指摘を改善できるように今後も会議等を積極的に行う必要がある。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開し、第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	13	1	定期的に行っている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	0		今後は外部からの評価も積極的に行う必要がある。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	13	0	定期的に新しい情報の共有などしている。	時間確保が難しくなる場合があり、全職員が時間調整して受けられるように今後もしっていく必要がある。まだまだ満足できるほどの時間を作れていないことが課題です。
	10 子どもの適応行動の状況を回るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14	0	定期的に行われている。	
適切な支援の提供	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的	14	0	定期的に変更している。	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	0	その子に応じて適切に選択していると思う。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	0	児発管の指示の元、職員は計画に沿った支援を遂行している。いつでも見直し出来るように職員が手に取りやすい場所に置いてあります。	引き続き皆で意見を出しながら行う必要がある。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	13	0	リーダーを中心に意見を出し合いながら行っている。職員同士が話し合いを行い、色々な支援が出来るようにしてしま	引き続き皆で意見を出し合いながら行う必要がある。もっと手短かに話し合いが出来るような工夫が必要だと思います。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14	0	その日来る子に応じて、できることが多くなるように内容を変更している。	引き続き皆で意見を出し合いながら行う。すべての利用者様が対象になるように、もっと、たくさんの工夫が必要だと思います。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	14	0	児発管を中心に皆で意見を出して行っている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14	0	朝礼を短時間でも行い共有に努めている。限られた時間の中で目的などを伝え、朝礼、夕礼に参加できない職員のためにホワイトボードに残しています。	非常勤職員の方への伝達をホワイトボードなどで行い、定着できるようにしていく。
	18 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14	0	夕礼を短時間でも行い共有に努めている。話し合いに参加できない職員にもわかるようにホワイトボードを活用しています。	その日休みだった職員にイベントなど共有できるように引き続き行う必要がある。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14	0	イベント事など記録し共有に努めている。	非常勤職員への共有できるように引き続き行う。
	20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	14	0	子どもの変化に合わせて適切に行っている。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	14	0		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14	0	定期的に行いできている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	13	1		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	13	1		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	0	積極的に情報の共有などしている。定期的な連絡を取り合い、必要に応じて話し合いをしています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解	14	0	積極的に情報の共有などしている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14	0	子どもの状況に応じて必要に応じて連携している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9	5	行いたい気持ちはあるが、なかなか話が進められていないのが現状です。	コロナ禍ということもあり、外部との交流はあまりしていないが機会があれば行いたいと思う。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	11	3		会議等の参加はないため、今後状況に応じて参加も検討していく。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つ保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	14	0	送迎時などでも積極的に情報の共有などしている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	13	1		あまり行われていないため、今後状況に応じて行えるよう準備を必要とする必要がある。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14	0	適切に行えている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14	0	同意を得て行えている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14	0	定期的に行えている。 気になるご家庭には教室からアクションを起こすこともあります。 定期的な面談等ですっきりとお話を伺うよう努力をしております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	1	年2回の活動報告を行う機会を作っている。 上半期、下半期で活動報告会を行っています。	今後は意見交換などが出来る場を作っていきたいと思っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適	14	0	適切に行われている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14	0	毎月通信を発行し、報告を行っている。 上半期、下半期活動報告会、コバン通信や、長期休みにはカードを作成して教室の様子をお伝えしております。	引き続き行えるようにしていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	14	0	外部では教室内のことを話さないよう徹底している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	0	十分に配慮して行えている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	6	特になし。	コロナ禍のために行えていなかったため、状況に応じて行えるよう工夫していく必要がある。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14	0	定期的にプログラムに取り入れ、行えている。 プログラム活動に取り入れ、防災訓練週間をもうけています。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14	0	定期的にプログラムに取り入れて行えている。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握している	14	0	皆で情報共有をしている。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14	0	皆で情報共有をしている。	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14	0	迅速に記録に残し、全体で共有できるようにしている。 すぐに書けるように、事務所に置いてあります。また、全員で確認をしております。 ヒヤリハットを書面で残すことで、その日に出動していなかった人にも共有できる。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	0	定期的に行っている。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計	14	0	記載され準じて行動している。	